

EasyInspector マスク画像

ペイントソフトでマスク画像を作成する方法

2011/04

株式会社スカイロジック

目次

1 : 概要.....	2
2 : 操作手順.....	3
2-1 : 雛形となるマスク画像の作成.....	3
2-2 : マスク画像の加工.....	4
2-3 : 真円を描く例.....	6

1 : 概要

EasyInspector では非検知ピクセル（検査対象外とする部分）をペンや消しゴムツールを使用して指定することができますが、複雑な形を指定したり、真円を描画したりしたい場合などは市販のペイントソフトを使用して描画したほうが容易な場合があります。

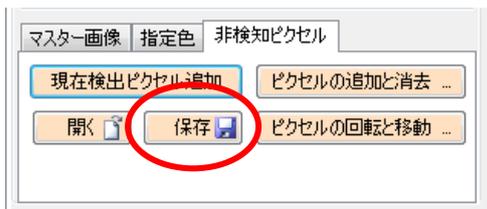
本文書は複雑な図形や真円を描画する例を用いて EasyInspector 用のマスク画像を作成する方法について説明しています。

2 : 操作手順

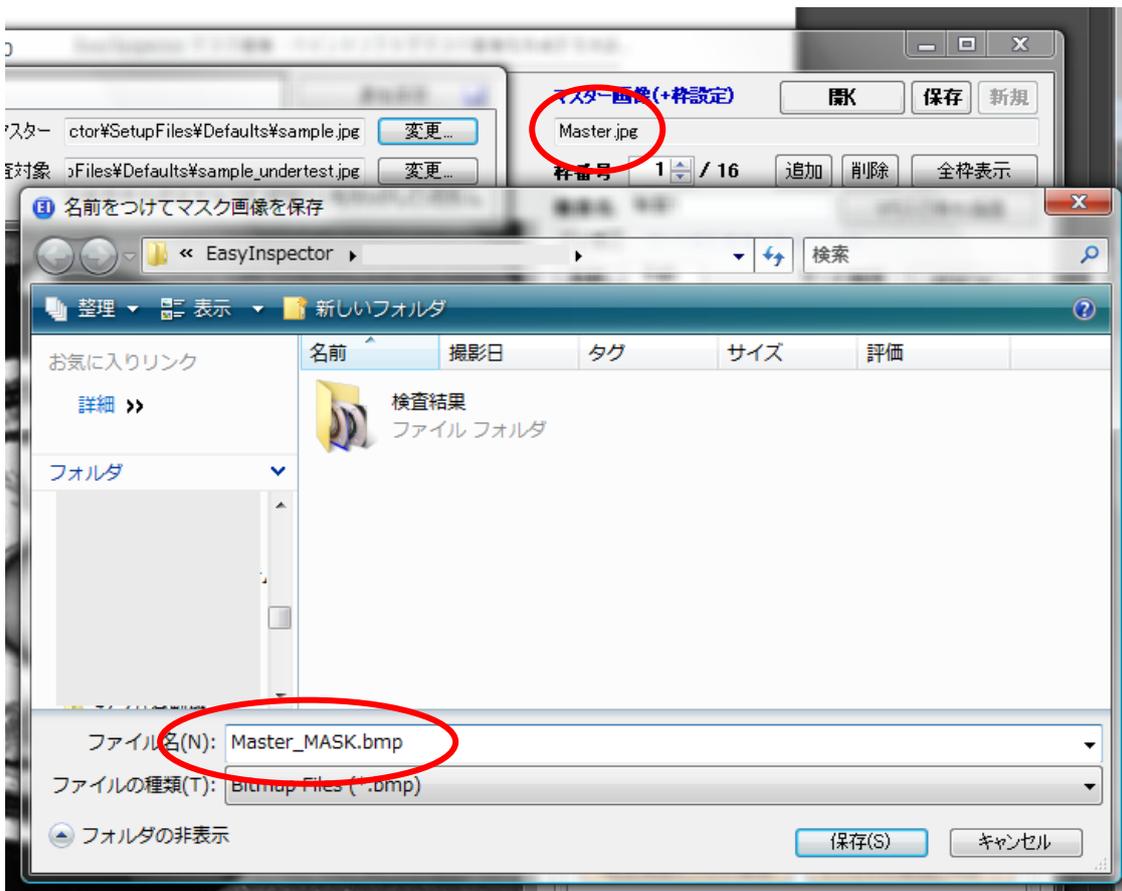
2-1 : 雛形となるマスク画像の作成

(マスター画像は作成済みとします)

「非検知ピクセル」タブ、「保存」ボタンをクリックしてマスク画像を保存します。

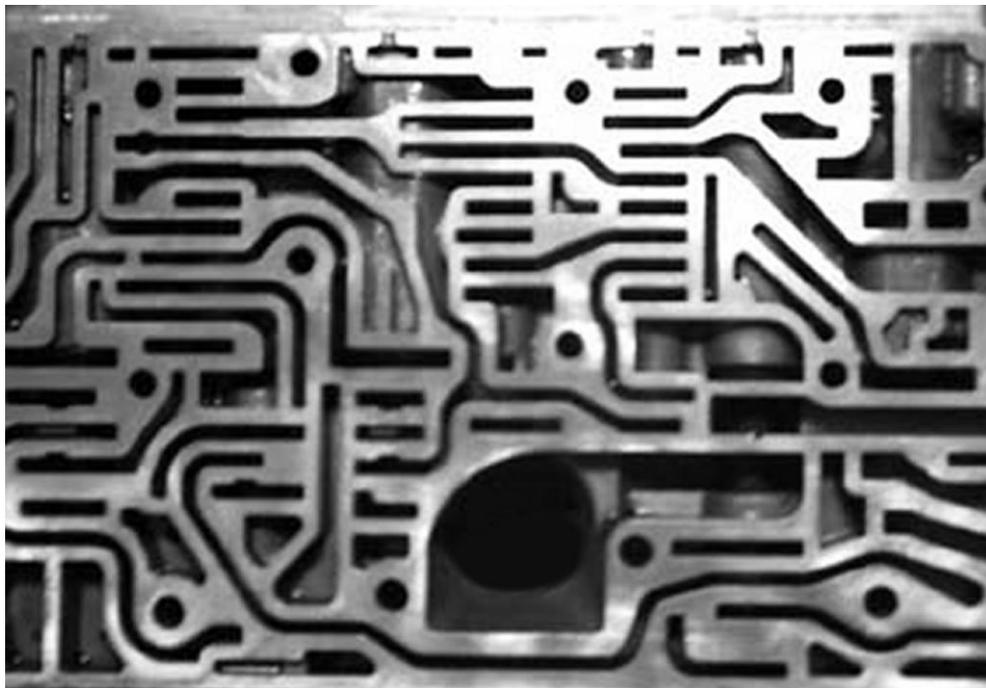


マスク画像のファイル名は必ずマスター画像のファイル名に「_MASK」を挿入したものとしてください。例えばマスター画像のファイル名が Master.jpg の時、マスク画像のファイル名は「Master_MASK.bmp」となります。それ以外のファイル名は指定できません。またマスク画像ファイルの保存先フォルダはマスター画像のフォルダと同一としてください。ファイル形式は BMP となります。

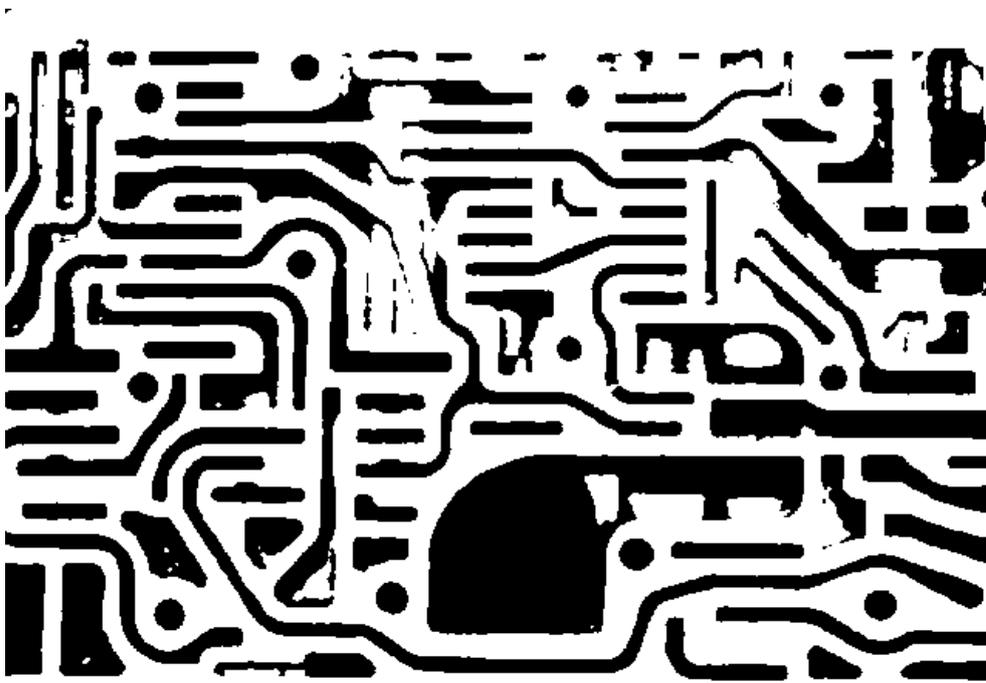


2-2 : マスク画像の加工

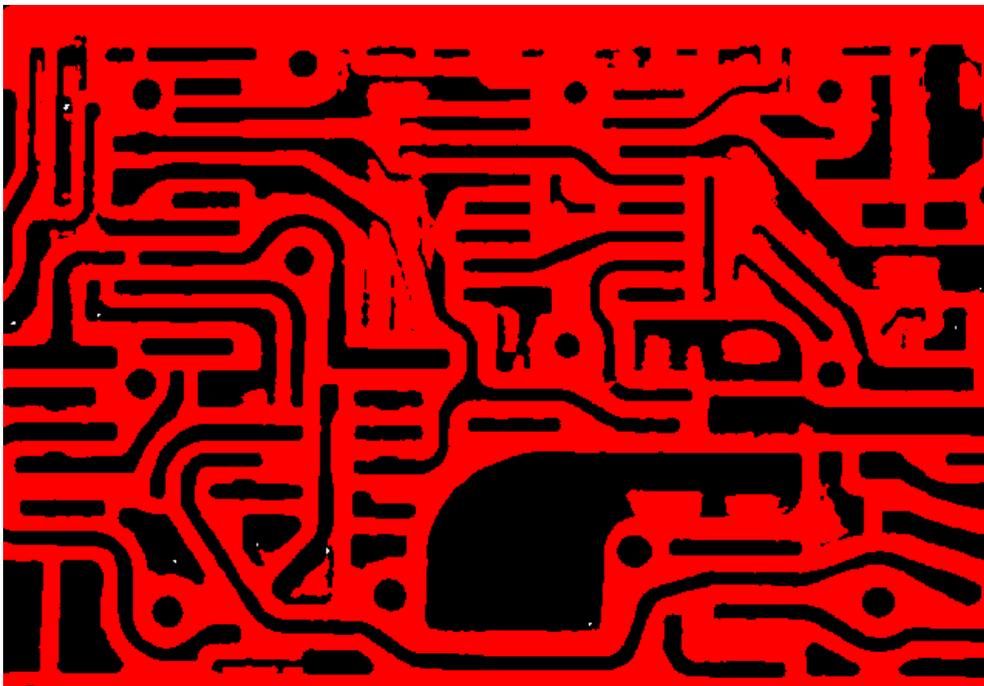
以下の例では複雑な図形のマスク画像を作成します。下のような部品の迷路のような溝の部分だけを検査し、それ以外にはマスクをかけます。



ペイントソフト（ここでは Paint Shop を使用しています）で二階調化します。



二階調化して白となった部分に「流しこみツール」を用いて純粋な赤色（赤=255、緑=0、青=0）を流し込みます。この赤色は必ず純粋な赤色を指定してください。検査したい部分は黒（赤=0、緑=0、青=0）を指定します。



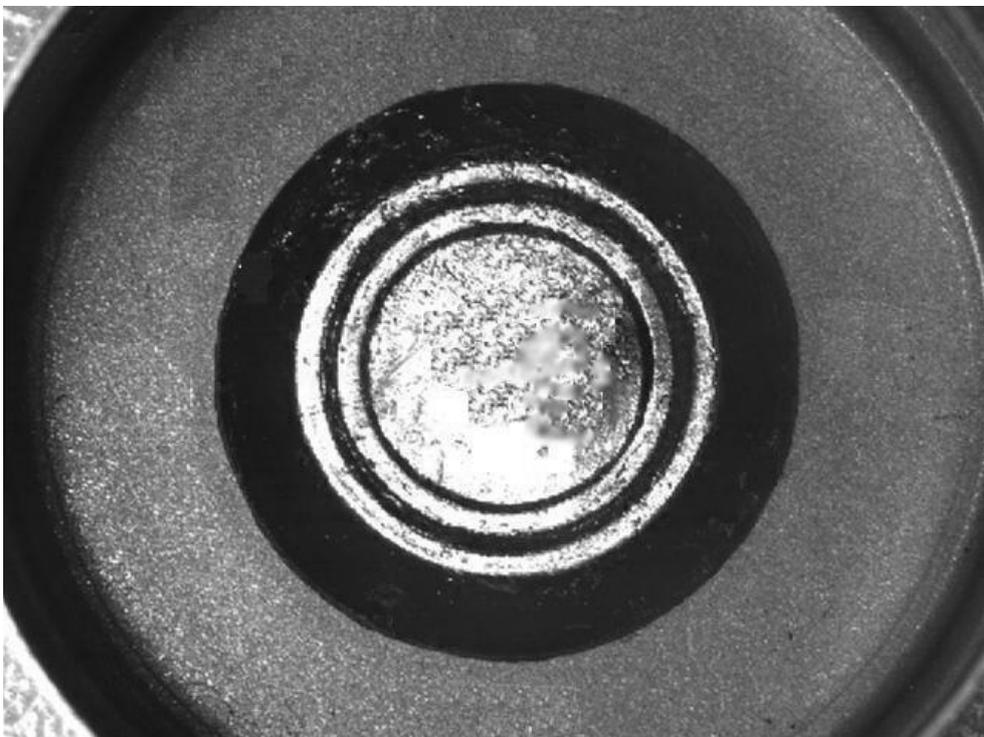
この画像でマスク画像を上書きします。

再度マスター画像を読み込んで、「非検知ピクセル」をクリックしてください。表示されたマスク画像に赤色の部分が反映されていればマスク画像が正しく読み込まれています。

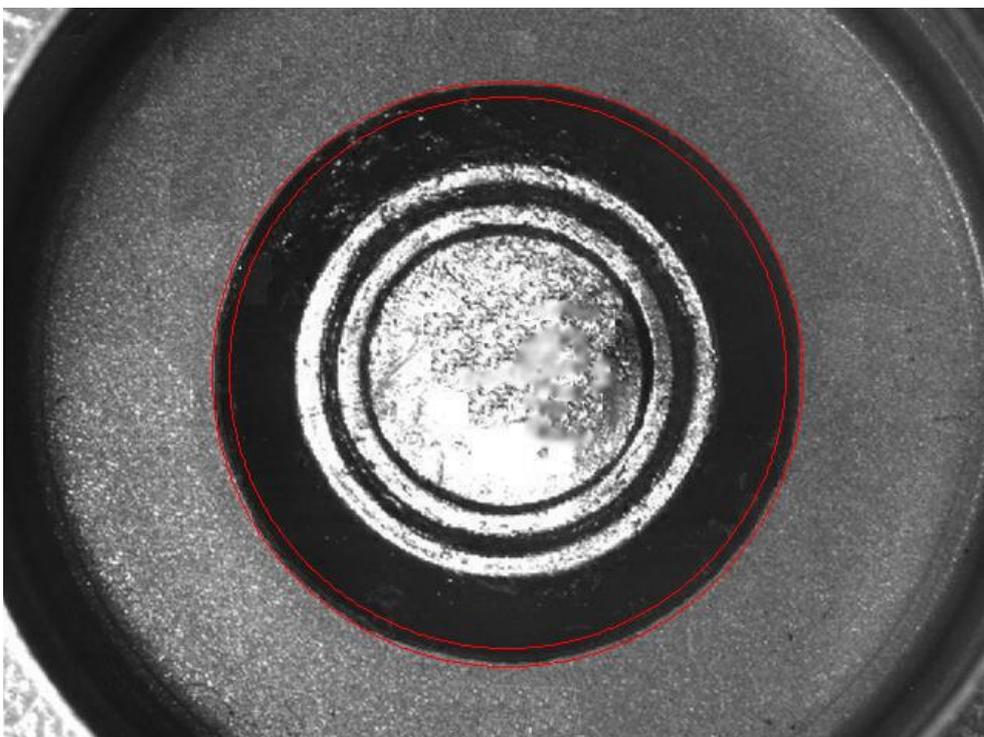
2-3 : 真円を描く例

円盤状部品の周辺部分の欠けのみ検査するため、縁の部分以外にマスクをかけます。

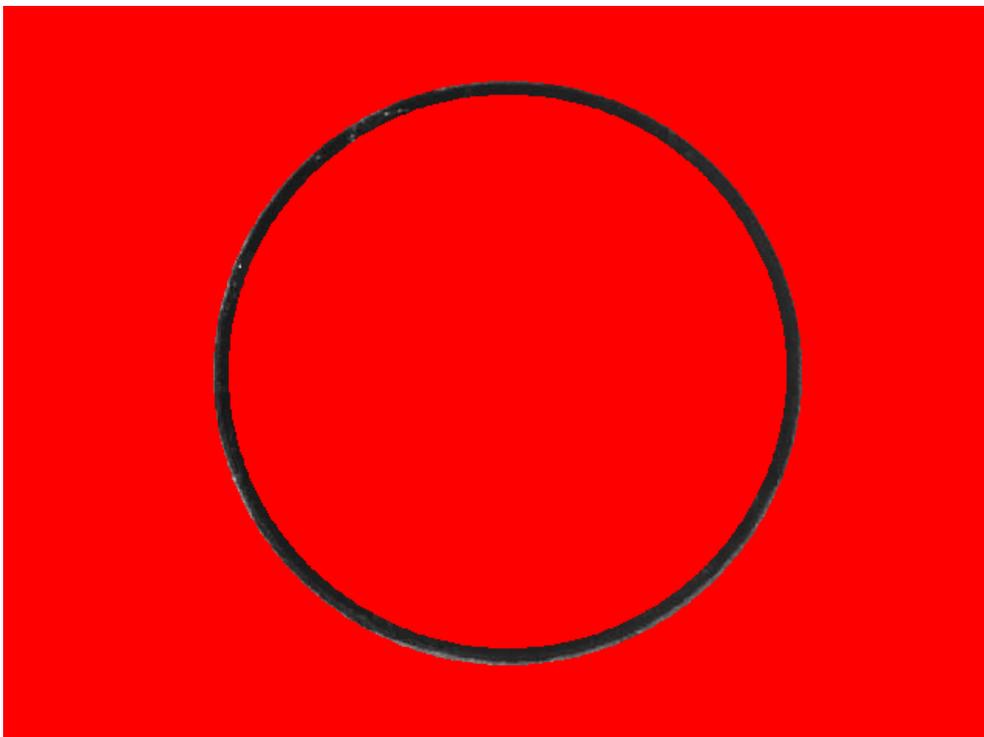
2-1の方法でマスク画像を作成します。



ペイントソフトの円描画ツールを使用して赤い同心円を描画します。



同心円の内側と外側に「流しこみツール」で純粋な赤色（赤=255、緑=0、青=0）を流し込みます。この赤色は必ず純粋な赤色を指定してください。検査したい部分は黒（赤=0、緑=0、青=0）を指定します。



この画像でマスク画像を上書きします。

再度マスター画像を読み込んで、「非検知ピクセル」をクリックしてください。表示されたマスク画像に赤色の部分が反映されていればマスク画像が正しく読み込まれています。